

特別編

九州の逸品

KYUSYU NO IPPIN

FILE No.61

九州の「地域ブランド」を
ご紹介致します。

雲仙・島原

しかがわ
はねず
鹿革・朱華



日本初かつ最大級の鹿牧場

長崎県島原半島の最南端にある南島原市口之津。ここに本社を構える株式会社ディアー・カンパニーは約1,000頭もの品種改良された鹿を島原半島内で飼育しています。日本初かつ最大級の鹿牧場を営むことになった経緯と、南島原市地域資源として認定された「鹿」について、2代目社長となる八木紀子社長を訪ね、お話を伺いました。

貴重な秘薬となる鹿の袋角

1977年、獣医であった先代・八木高人が、古来とても貴重な漢方薬として知られ王侯貴族しか使えない秘薬であったとされる



上：品種改良を重ねた約1,000頭の鹿を広大な敷地で飼育／右：スライスした袋角と粉末に加工した商品

「鹿茸」と呼ばれる鹿の袋角を、誰もが入手でき、誰もがもつと健康になれるようにとの思いから、鹿の飼育を日本で初めてスタートさせました。

最初の飼育は、たった3頭の鹿からでしたが、そこからよりよい鹿の角をつくるために品種改良を重ね、現在は約1,000頭の鹿を飼育しています。健康な鹿であるよう、餌は自社の牧草地で栄養成分の高い牧草を無農薬で栽培し、他の穀物や野菜、湧き出る天然水とともに与えています。起伏のある広大な敷地で育てることにより、鹿は健康でストレスなく大きく成長します。

家畜化した鹿の袋角を採取するためだけに鹿の生命を奪うことはありませんが、繁殖の際に牧場

内の雌雄バランスが崩れる時など

には屠畜を行います。屠畜した鹿は、鹿肉をジビエとして雲仙の高級ホテルなどで提供し、鹿革は革製品として加工して販売します。

私たちは鹿を育て、鹿の命をいただいているのだという思いを常に念頭に置きつつ、世のため人のために、鹿の全てを余すところなく使わせていただいているのです。

軽く柔らかく、

しつとりと

肌に馴染む心地よさ

鹿革は軽くて柔らかく、ふんわりあたたかみがあり、しつとりと肌に吸い付くような触り心地があります。伸縮性があり、通気性や耐久性にも優れ、牛革よりも革の



▲中山智介氏



▲鈴木てるみ氏



▲新田眞大氏

なかの油分を保持する能力が優れているため長期間の使用にも耐えることができます。剣道の武具などにも利用されるなど、日本ではおよそ1300年前から利用される伝統的な革製品として知られ、奈良・東大寺の正倉院に納められた革製品のうち8割は鹿革といわれています。

「朱華」で 日本の技術と伝統を 後世に伝えたい

鹿皮は古くから、馬・牛皮などよりも加工しやすい生活用品として、柔軟で丈夫な革紐や皮膜素材などに使われてきました。鹿皮を武具へ利用した始まりは弥生時代だったといわれ、西暦500年

頃になると、朝鮮半島から皮の加工技術が日本に伝えられ、その後は長い歴史と工夫を積み重ねて、日本鹿を使った独自の文化として鹿革製品が作られるようになったのです。

歴史のある鹿革製品のなかで、とくに甲冑や武具、足袋などに使用されるものは天然の植物で染色した鹿革でした。この手法を復元したのが白鞣^{しろなめ}し加工であり、白鞣し革の藍染めです。

しかし、日本で白鞣し加工を施すことのできる鹿革職人は、兵庫県姫路市の新敏製革所の代表、新田眞大氏ただひとり。白鞣し加工には卓越した技術と時間がかかるため、大量生産に向いていません。さらに染色は古来、衣服や調度品とする布綿などに色や文様を

つけることを発端として、鹿革のみが染革素材に使用されるようになりました。「朱華」に藍染めや草木染めを施すのは、長崎県雲仙市のアイアカネ工房の鈴木てるみ氏です。自然の葉や枝、根が持つ多様な色合いを引き出し、そんな草木の生命を革に宿すことができる職人です。

そして鹿革の製品化で最も重要な加工工程となる縫製組み立てを施すのが、長崎県大村市で「銀職庵^{ぎんしやくあん}水主^{みづぬし}」を営む中山智介氏です。

それぞれの持つ、途絶えがちな日本の技術と伝統を復活・結集させ、鹿革製品を商品化して後世に残したい、文化継承の役割を担いたい。そのような想いで「朱華」は生まれました。



▲ペットフードもラインアップ



▲ハンバーグやベーコンなどの鹿肉加工食品



▲鹿の袋角を加工した健康食品



エンニチ en-nichi

あなたと作り手を結ぶ、地域共創型オンラインストア

エンニチとは、iBankマーケティングが地域総合商社事業の一環で立ち上げたECモールサイトで、地域の魅力的な商品を販売しています。

<https://www.ennichi-japan.com/>



株式会社 ディアー・カンパニー



- 代表取締役：八木 紀子
- 住 所：〒859-2502
長崎県南島原市口之津町甲2351
- 電 話：0957-86-3669
- ホームページ：<https://nagasaki-hanezu.com>
- 取引銀行：親和銀行 口之津支店

